

<p>1. 川西市の重点方針</p> <p>元気でうれしいのあるオンリーワンのまちづくりを実現するため、第4次総合計画後期基本計画「笑顔・ときめき川西プラン」に掲げる次の3点に重点を置いて施策展開を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①次代を担う子どもが健やかに育つ環境づくり ②市民の笑顔と元気がみなぎるまちづくり ③市民とともに築く未来に向けたまちづくり 	<p>2. 中央北整備部のサービス対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 土地区画整理事業の対象となる権利者（所有権、借地権） ② 区域内水路の水利関係団体 ③ 区域周辺の住民(川西北小学校区) ④ 区域内公共サービスを受取る一般市民 	<p>3. 中央北整備部を取り巻く経営環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 公共団体施行(土地区画整理事業)の未経験 ② 2つの役割 <ul style="list-style-type: none"> 2-1 施行者としての役割(「換地(集約換地)」及び「公共施設整備」) 3-2 川西市としての役割(「付加価値の向上」及び「中活基本計画」) ③ 早期の土地利用(事業展開)の必要性
--	---	--

<p>4. 中央北整備部がめざす姿</p>
<p>行政のリーダーシップと民間活力の両輪による、長年の悲願であった21世紀への土地利用転換を図る。</p>

5. 中央北整備部の現状		
(1)重要成功要因	(2)経営上の強み	(3)経営上の課題
<ul style="list-style-type: none"> ① 事業展開への理解を深めるための外部への情報発信(権利者説明会、広報誌及びホームページ等)。 ② OJTやOFFJT(部会議及び研修など)による職員個々人の能力及び部全体の組織力の向上。 ③ 部内の情報共有を通じた「成長する組織」としての組織風土の醸成。 	<ul style="list-style-type: none"> ①能動的に取り組む姿勢による課題の早期発見。 ②きめ細かな対応による権利者との信頼関係の構築。 ③タイムリーな情報発信による事業への理解の享受。 	<p>①市民の満足に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ①換地に対する合意形成に時間を要する。 ②具体的な土地利用は権利者にゆだねられ、土地利用の将来像を示しにくい。 ③事業が専門的かつ複雑なため、市民にとって分かりにくい面がある。 <p>②組織体質の改善に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ①組織の新体制移行による人員増加に伴い、情報や意識の共有化が難しい。 ②公共団体施行(土地区画整理事業)の未経験のため試行錯誤による経営を余儀なくされる。 ③「集約換地」と「区域全体の付加価値の向上」の両輪が求められ、「施行者」と「市」の2面性(バランス)が必要となる。

6. 中央北整備部の重点目標	
<p>(1)市民満足の向上に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①権利者の意向に関してきめ細かく把握する。 ②まちづくり方針の公表により、能動的な土地利用計画を促す。 ③事業に関する情報発信(権利者説明会、広報誌及びホームページ等)を適宜実施する。
<p>(2)組織体質の改善に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①部会議、課会議を通して情報の通風採光の向上に努めて情報共有を徹底する。 ②経験不足を補うため、法令や行政実例に精通(OJT、OFFJT)したうえで適切な運用を行う。 ③「集約換地」と「区域全体の付加価値の向上」の実現のため、強い「意志」と「勇気」をもって取り組む。

7. 中央北整備部の目標						
指標	H20実績	H21実績	H22実績	H23末目標	H24末目標	
① 施策評価指標	① 権利者の意向確定率	-	-	-	60%	100%
	② 換地に対する合意率	-	-	-	80%	100%
	③ 説明会への参加率	-	-	-	30%	30%
② 市民満足向上目標	① せせらぎ遊歩道WSへの参加率	-	-	-	80%	-
	② 中北ミーティングの参加率	-	-	-	30%	30%
③ 組織体質改善目標	① 部会議の開催回数	-	-	-	30回	30回
	② 課会議の開催回数	-	-	-	30回	30回
	③ OJTの受講延べ人数	-	-	-	100人	100人
	④ OFFJTの受講延べ人数	-	-	-	20人	20人